

全新原版E U系列应试必备丛书

日本留学考试 全攻略

考前对策问题集

〔日〕爱知国际学院 编



听读解

➤国内首家引进EJU系列

➤日本留学考试必备

➤全新原版仿真考题

天津出版传媒集团



天津科技翻译出版有限公司

全新原版 EJU 系列应试必备丛书

日本留学考试全攻略

考前对策问题集

< 听读解 >

〔日〕爱知国际学院 编

天津出版传媒集团



天津科技翻译出版有限公司

著作权合同登记号:图字 02-2014-253

图书在版编目(CIP)数据

日本留学考试全攻略:考前对策问题集.听读解/日本爱知国际学院编.
天津:天津科技翻译出版有限公司,2014.9

(全新原版 EJU 系列应试必备丛书)

ISBN 978-7-5433-3415-1

I. ①日… II. ①日… III. ①日语—听说教学—高等学校—入学考试—日本—自学参考资料 ②日语—阅读教学—高等学校—入学考试—日本—自学参考资料 IV. ① H360.41

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2014) 第 153718 号

授权单位:大新书局

出 版:天津科技翻译出版有限公司

出 版 人:刘 庆

地 址:天津市南开区白堤路 244 号

邮政编码:300192

电 话:(022)87894896

传 真:(022)87895650

网 址:www.tsttpc.com

印 刷:天津泰宇印务有限公司

发 行:全国新华书店

版本记录:787×1092 16 开本 11.75 印张 212 千字

2014 年 9 月第 1 版 2014 年 9 月第 1 次印刷

定价:29.80 元(配光盘)

(如发现印装问题,可与出版社调换)

はじめに

本書は、新傾向の問題集です。

私たち、日本留学試験研究会は「講義を受ける日本語力をどう育てればよいか」と問い続けながら問題を作成し、問題集にはその中から各科目40問ずつ取り上げました。形式は日本留学試験に準じています。また、短時間で効果的に力が伸ばせるように一問一問に練習問題をつけました。設問に答えたり書き込んだりする活動を通して、キーワードを覚えたり、考える力を身につけたりすることができるようになっていきます。外国で学ぶ学習者の皆さんには自習書として、また国内の日本語学校では段階的に能力を高める教材として使える問題集です。

本書では、新しいテーマのものを積極的に取り上げました。各問題には練習問題のほかに関連語彙をのせ、大学生が知っていなければならないような語彙や表現を多く盛り込みました。必要な語彙は日々変化して、新しいものが増えています。特に海外で学習する皆さんには、このページは大きな助けとなると思います。巻末には、新聞をはじめ様々なジャンルの参考引用資料が上げられています。ここからも本書の特徴がわかっていただけたと思います。新しい情報、知的な問題が詰まった本書で、楽しく効果的にアカデミック・ジャパニーズを身につけてください。

副題は「講義を受けるための思考力を養う」としました。問題を解くことによって考える力が養えるように、設問のしかたにも工夫を凝らしました。40問の問題の後半には、一部、難易度の高い問題もあります。この部分は試験対策としてはもちろん、大学入学直前の準備教育としても使えるものです。

本書が、多くの学習者の皆さんの役に立つことを願ってやみません。使ってくださった後のご意見は、ぜひ本校宛にメールしてください。今後の参考とさせていただきます。

編 者

出版にあたって

従来の日本語能力試験にかわり、新しく実施される日本留学試験が日本の大学進学に利用されることとなり、形式やその試験の問うものがまったく新しいものであることがわかると、日本語学校などの日本語教育機関では、新試験にどのように対応したらよいかということが大きな問題となりました。

私どもの学院でも「日本留学試験の目指すアカデミック・ジャパニーズとはいったいどういうものなのだろうか」「どういう形で対応したらよいだろうか」と大きな問題になりました。そして模擬の問題集もほとんどない現状と大学の授業を受けるに足る日本語力が要求されているということから、では、自分たちで問題を作ろうということになりました。かれこれ3年前のことです。当初の計画では、もっと早く完成する予定でしたが、スタートしてみると予想より大幅に時間がかかり、今回ようやく完成の運びとなりました。

留学試験も回を重ねる間に問題の傾向に変化があり、私どもの目指した方向は間違っていないかった、と意を強くいたしました。そして、ぜひ他の学校の先生がたにもみていただいて、問題集に対するご批判やご意見をいただきたい、できれば使っていただいてその結果などを教えていただきたいと考えております。率直なご批判等お待ちいたしております。

最後に「日本留学試験対応EJUシリーズ」の企画・編集に携わっていただいた先生方、また快く出版を引き受けてくださった大新書局(中国台湾)、時事日本語社(韓国)、天津科技翻訳出版有限公司(中国)に心より感謝いたします。

2013年春

愛知国際学院
莊 昌憲

この本の使い方

この問題集を自習用として使う学習者のみなさん、問題にはそれぞれ練習問題がついています。より短い時間で能力を高めるためには、下のような順で使うと、より効果的です。

この本を教室活動の中で使う場合は、キーワードの確認の質問文を（活字としては一切見せずに）教師が読み上げて学生に答えさせるという活動が効果的です。

この本は、問題一問に対して、それぞれ4ページの構成になっています。

1 ページ目	マークシート	問題（表やグラフなど）	
2 ページ目	答えを選んだあとで…		練習問題のページ
3 ページ目	聴読解 CD の内容	スクリプト	マークシートの答え
4 ページ目	練習問題の答え		解答のページ
ことば・関連語彙 表現・例文			

① まず CD を聞いて、問題を解きます。**1 ページ目**

② 答えは **3 ページ目** の終わりにありますが、ここではまだ確認しないでください。
もう一度 CD をきいて、**2 ページ目** の「答えを選んだあとで…」に進みます。

キーワードの確認 / 質問をよんで口頭で答えよう

聴読解を解くには、高い聴解能力が必要とされます。聴解の力をより効果的に伸ばすために、答えを確認する前にキーワードを使って解く練習問題があります。ここで、漢字の言葉が **ひらがな** で書いてあるのには、理由があります。

聴解問題を自習する場合には、それを先生に日本語で説明してもらったり、大切なことばを何度も繰り返し聴く機会がないので、

「問題が難しくて解けない。分からない言葉がある。」

↓

「CD の内容を文字、つまり漢字を見て理解する。（漢字や意味が、まず記憶に残る。漢字の言葉を音で覚えようという意識が働きにくい。）」

↓

「次回違う問題で同じ言葉を聞いても、また分からない」

↓

「また、CD の内容を文字で確認しなければならない」

という悪循環に陥る危険があります。この問題集では答えを漢字で確認する前に、キーワードの確認ができるようになっています。

1. キーワードを視覚（漢字）ではなく音で覚えることができ、聴解力がより確実に身につきます。
2. 聴解問題では、分からない部分を聞き飛ばす力も要求されます。この練習では、キーワードに重点を絞った聞き方ができていたかどうかを確認できます。問題が解けたと思っても、聞き取りの能力が十分でなければこの「キーワードの確認」の問題には答えられません。
どこまで聞き取ることができたかが、この練習ではっきりわかります。

「キーワードの確認」の問題は、できればCDを聞きなおさずに解けるといいのですが、難易度が高い問題ではもう一度CDを聞いてから解いてもかまいません。

もう一度CDを聞いて書こう / 書くことにより内容を確認しよう

答えが正しいかどうかだけでなく、どこまで聞き取ることができているかを自己チェックできるようになっています。CDの内容がまとめてある問題を段階を追って解くことで、どうしてその番号が答えになるのか、がわかるよう作られています。

聴解問題を解くときには重点を絞って聞くことが一番大切ですが、この練習ではさらに細部まで聞き取るための練習ができます。

③ 答えの確認

「キーワードの確認」「もう一度CDを聞いて書こう」の2つの練習が終わったら、答えが4ページ目にありますので確認しましょう。ここでマークシートの答え3ページ目も確認しましょう。

3ページ目には文字で表したCDの内容がありますから、聞き取れなかった部分などがあれば、ここで確認しましょう。

④ 答えの確認が終わったら、4ページ目 後半の練習「ことば・関連語彙」「表現・例文」に進みましょう。

ことば・関連語彙

問題文の中に出てきたことばと、それに関連のある語彙が取り上げてあります。数があまり多くならないように重要なことばが選んでありますので、すべて覚えるつもりで取り組みましょう。

この問題集では、大学生活を送るために必要な能力をつけることを目標に日本留学試験の難易度よりも難しいと思われることばも、取り上げてあります。

表現・例文

上級で必要となる文型だけでなく、聴解能力に必要な話し言葉や、文章の型なども取り上げてあります。話し言葉はそれに対応する書き言葉とともに挙げられていますので、文体の差にも気をつけて学ぶことができます。

日本留学試験 実施要項

1. 目的

外国人留学生として、我が国の大学（学部）等に入学を希望する者について、日本語力及び基礎学力の評価を行う。

2. 実施者

独立行政法人日本学生支援機構が、文部科学省、外務省、大学及び国内外の関係機関の協力を得て実施する。

3. 試験の方法、内容等

(1) 対 象：外国人留学生として、我が国の大学等に入学を希望する者

(2) 試験日：年2回 第1回 6月 第2回 11月

(3) 実施地：国 内 北海道、宮城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、石川県又は福井県、静岡県、愛知県、京都府又は滋賀県、大阪府、兵庫県、岡山県又は広島県、福岡県及び沖縄県

国 外 インド（ニューデリー）、インドネシア（ジャカルタ及びスラバヤ）、韓国（ソウル及びプサン）、シンガポール、スリランカ（コロンボ）、タイ（バンコク）、中国台湾、フィリピン（マニラ）、ベトナム（ハノイ及びホーチミン）、中国香港、マレーシア（クアラルンプール）、ミャンマー（ヤンゴン）、モンゴル（ウランバートル）及びロシア（ウラジオストク）

(4) 出題科目等

受験者は、受験希望の大学等の指定に基づき、以下の科目の中から選択して受験する。

科 目	目 的	時 間	得点範囲
日 本 語	日本の大学等での勉学に対応できる日本語力（アカデミック・ジャパニーズ）を測定する。	125 分	読解 聴解・聴読解 0～400 点
			記述 0～50 点
理 科	日本の大学等の理系学部での勉学に必要な理科（物理・化学・生物）の基礎的な学力を測定する。	80 分	0～200 点
総合科目	日本の大学等での勉学に必要な文系の基礎的な学力、特に思考力、論理的能力を測定する。	80 分	0～200 点
数 学	日本の大学等での勉学に必要な数学の基礎的な学力を測定する。	80 分	0～200 点

[備 考]

- ① 日本語の科目は、記述、読解、聴解・聴読解の3領域から構成される。
- ② 理科について、受験者は、受験希望の大学等の指定に基づき、物理・化学・生物から2科目を選択する。
- ③ 数学について、受験者は、受験希望の大学等の指定に基づき、文系学部及び数学を必要とする程度が比較的少ない理系学部用のコース1、数学を高度に必要とする学部用のコース2のどちらかを選択する。
- ④ 理科と総合科目を同時に選択することはできない。
- ⑤ 上記の得点範囲は、日本語の科目の記述を除き、素点ではなく、共通の尺度上で表示する。また、記述については基準に基づき採点する。
- ⑥ 出題範囲は、各科目のシラバスを参照のこと。

(5) 出題言語：日本語及び英語により出題するので、受験者は、受験希望の大学等の指定を踏まえて、出願の際にどちらかを申告する（日本語の科目は日本語による出題のみ）。

(6) 解答方式：多肢選択方式（マークシート）（日本語の科目は記述式を含む。）

4. 出願の手続き等

(1) 出願手続き

① 願 書：所定のもの

② 受 験 料：	国 内	(1 科目のみの受験者)	5,960 円 (税込み)
		(2 科目以上の受験者)	11,920 円 (税込み)
国 外	インド		500 ルピー
	インドネシア		50,000 ルピア
	韓国	(1 科目のみの受験者)	40,000 ウォン
		(2 科目以上の受験者)	65,000 ウォン
	シンガポール		36 シンガポールドル
	スリランカ		700 スリランカルピー
	タイ		300 バーツ
	中国台湾	(1 科目のみの受験者)	1,200 台湾ドル
		(2 科目以上の受験者)	1,600 台湾ドル
	フィリピン		250 ペソ
	ベトナム		100,000 ドン
	中国香港	(1 科目のみの受験者)	350 香港ドル
		(2 科目以上の受験者)	600 香港ドル
	マレーシア		60 リンギット
	ミャンマー		15 FEC
	モンゴル		10,000 トウグルグ
	ロシア		300 ルーブル

③ 出 願：国 内 独立行政法人日本学生支援機構留学生事業部留学試験課に提出する。

国 外 各国・地域の現地機関に提出する。

(2) 受験案内

出願手続き等の細目については、「日本留学試験受験案内」により公表する。

販売の方法：国 内 2月 下旬から 1部510円（消費税含む）で全国の主要書店において販売予定。

国 外 各国・地域の現地機関と調整のうえ、決定する。

(3) 受験票の送付

国 内 : 願書を受理したものについて、次に掲げる期日に発送する。

第1回 5月下旬 第2回 10月下旬

国 外 : 各国・地域の現地機関と調整のうえ、決定する。

[備考] 受験票、結果の通知の発送料については、受験案内等で公表する。

5. 結果の通知等

(1) 受験者への通知

次に掲げる期日(予定)に、試験の成績を通知する。

第1回 7月下旬 第2回 12月下旬

(2) 大学等への通知

第1回については7月下旬から、第2回については12月下旬から、大学等からの成績照会への対応を開始する。

照会先: 独立行政法人日本学生支援機構

留学生事業部留学試験課

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29

電話 03-6407-7457

FAX 03-6407-7462

E-Mail aju@jasso.go.jp

独立行政法人日本学生支援機構 <http://www.jasso.go.jp/>

日本語シラバス

I. 試験の目的

この試験は、日本の高等教育機関（特に大学学部）に、外国人留学生として入学を希望する者が、大学等での勉学・生活において必要となる言語活動に、日本語を用いて参加していくための能力をどの程度身につけているか、測定することを目的とする。

II. 試験の構成

この試験は、理解に関わる能力を問う領域（読解、聴解、聴読解）と、産出に関わる能力を問う領域（記述）からなる。

III. 各領域の概要

1. 読解、聴解、聴読解領域

読解は、主として文章によって出題されるが、文章以外の視覚情報（図表や箇条書きなど）が提示されることもある。聴解は、すべて音声によって出題され、聴読解は、音声と視覚情報（図表や文字情報）によって出題される。

（1）問われる能力

読解、聴解、聴読解領域では、文章や談話音声などによる情報を理解し、それらの情報の関係を把握し、また理解した情報を活用して論理的に妥当な解釈を導く能力が問われる。具体的には以下のような能力が問われる。

① 直接的理解能力：

言語として明確に表現されていることを、そのまま理解することができるかを問う。たとえば、次のようなことが問われる。

- 個々の文・発話内で表現されている内容を、正確に理解することができるか
- 文章・談話全体の主題・主旨を、的確にとらえることができるか

② 関係理解能力：

文章や談話で表現されている情報の関係を理解することができるかを問う。たとえば、次のようなことが問われる。

- 文章・談話に含まれる情報のなかで、重要な部分、そうでない部分を見分けることができるか

- 文章・談話に含まれる情報がどういう関係にあるかを理解することができるか
- 異なる形式・媒体（音声，文字，図表など）で表現されている情報を比較・対照することができるか

③ 情報活用能力：

理解した情報を活用して論理的に妥当な解釈が導けるかを問う。たとえば，次のようなことが問われる。

- 文章・談話の内容を踏まえ，その結果や帰結などを導き出すことができるか
- 文章・談話で提示された具体的事例を一般化することができるか
- 文章・談話で提示された一般論を具体的事例に当てはめることができるか
- 異なる形式・媒体（音声，文字，図表など）で表現された情報同士を相補的に組み合わせて妥当な解釈が導けるか

（２）出題される文章や談話の種類

（１）で挙げられた能力は，大学等での勉学・生活の場において理解が必要となる文章や談話を題材として問われる。具体的には以下のような文章・談話である。

読解

- 説明文
- 論説文
- （大学等での勉学・生活にかかわる）実務的・実用的な文書／文章 など

聴解，聴読解

- 講義，講演
- 演習や調査活動に関わる発表，質疑応答および意見交換
- 学習上または生活上の相談ならびに指導，助言
- 実務的・実用的な談話 など

2. 記述領域

（１）問われる能力

記述領域では，「与えられた課題の指示に従い，自分自身の考えを，根拠を挙げて筋道立てて書く」ための能力が問われる。具体的には以下のようなことが問われる。

- 与えられた課題の内容を正確に理解し，その内容にのっとった主張・結論を提示することができるか

- 主張・結論を支えるための、適切かつ効果的な根拠や実例等を提示することができるか
- 主張・結論を導き出すに当たって、一つの視点からだけでなく、多角的な視点から考察をおこなうことができるか
- 主張・結論とそれを支える根拠や実例等を、適切かつ効果的に、また全体としてバランスのとれた構成をなすように配列することができるか
- 高等教育の場において、文章として論述をおこなう際にふさわしい構文・語彙・表現等を、適切かつ効果的に使用できるか

(2) 出題される課題

- 提示された一つまたは複数の考え方について、自分の意見を論じる
- ある問題について現状を説明し、将来の予想や解決方法について論じる 等

独立行政法人日本学生支援機構 <http://www.jasso.go.jp/>

目次

はじめに	i
出版にあたって	ii
この本の使い方	iii
日本留学試験 実施要項	vi
日本語シラバス	x
第1部 基礎力をつける	1
1 番	2
2 番	6
3 番	10
4 番	14
5 番	18
6 番	22
7 番	26
8 番	30
9 番	34
10 番	38
11 番	42
第2部 ポイントを聞き取る	47
12 番	48
13 番	52
14 番	56
15 番	60
16 番	64
17 番	68
18 番	72
19 番	76
20 番	80
21 番	84

22 番	88
23 番	92
24 番	96
25 番	100
26 番	104
第3部 講義を受ける力を養う	109
27 番	110
28 番	114
29 番	118
30 番	122
31 番	126
32 番	130
33 番	134
34 番	138
35 番	142
36 番	146
37 番	150
38 番	154
39 番	158
40 番	162
参考・引用資料一覧	167